

島根県立サッカー場

—— これまでのあゆみ

島根県立サッカー場は、昭和57年の「島根くにびき国体」のサッカー会場として昭和53年に竣工され、県内唯一のサッカー専用競技場として、島根県スポーツ協会が管理運営を行うこととなった。

竣工翌年には地域で開催されていた少年サッカースクールを、当施設のスクールとして開催し、さらに昭和60年には、当時県内にも少なかった女子児童を対象とした少女スクールを追加し、地域のサッカー振興の拠点としての役割も担ってきた。

平成3年度から平成17年度は、益田市に管理が委託され、隣接する益田運動公園と併せて、「財益田市文化スポーツ振興財団」が管理運営を行った。竣工から20年にわたり県民の皆様に愛されてきたが、施設の老朽化に伴い、平成10年12月から平成12年5月にかけて、全面的な改修工事が行われ、平成12年10月にリニューアルオープンした。

新しくなったサッカー場は、「プレー」はもちろん「見る」、「声援する」という要素を加えた施設として、天然スポーツターフの競技場、座席付きメインスタンド、照明設備を備え、地域のランドマークとして、さらにスポーツ

交流の拠点として、キラキラ輝く地域づくりを推進する役割を担うこととなった。

リニューアルオープンに際しては、「Jリーグプレシーズンマッチ」として、「サンフレッチェ広島」VS「京都パープルサンガ」の記念大会を誘致し、4千人余りのファンが新しい要素「見る」「声援する」というスタイルを楽しんだ。

平成17年には指定管理制度が導入され、本協会が指定管理者として管理運営を行っており、少年カテゴリーからシニアカテゴリーまで、幅広い世代の大会会場として貸出を行うほか、練習試合や指導者研修会の会場としても利用をいただいております。県民の皆様のスポーツ振興の拠点として大きく貢献している。



ジュニアスタジアムカップ



島根県立サッカー場メインスタンド

—— 現在の状況

当施設のスポーツターフ競技場は、他の天然芝競技場と比較しても高い利用率であるにも関わらず、丁寧に管理することで非常に良好なコンディションを保っており、県内サッカー関係者をはじめ、近年利用が増えている中国サッカーリーグの関係者からも高い評価を得ている。

この評価の高いスポーツターフ競技場を、少しでも多くの皆様に利用していただくため、当施設の主催大会として、小学生を対象とした「ジュニアスタジアムカップ」、高校生を対象とした「フトゥーロカップ」、中学生以上の女子を対象とした「なでしこカップ」を開催している。毎年、各カテゴリーの白熱した試合が展開され、出場していただくチームには大変喜ばれている。

また、前述のとおり、サッカー教室の充実にも力を入れており、この指導者には島根県サッカー協会並びに同益田支部よりライセンスを保有した指導者を派遣していただいている。

現在、5歳から小学4年生の男子を対象とした「キッズスクール」、同じく5歳から小学4年生の女子を対象とした「少女スクール」、小学5年生から一般までの女子を対象とした「なでしこスクール」の3スクールを開催している。

その他、10月を「スポーツ推進月間」と定め幼児を対

象としたイベント「キッズサッカーフェスティバル」を開催するなど、幼児期に始まると言われる運動の2極化、運動格差の解消にも努め、地域のスポーツ振興に大きく貢献している。

—— これから

当施設では全国規模の大会も開催されており、昭和56年にくにびぎ国体のリハーサル大会として「全国社会人サッカー選手権大会」が開催され、昭和57年には「くにびぎ国体」、平成16年には「全国高校総体」と、本県サッカー選手の活躍を支えてきた。そして、2030年には「島根かみあり国スポ・全スポ」のメイン会場として使用される予定となっているため、今後は島根県サッカー協会ともさらなる連携を図り、「島根かみあり国スポ・全スポ」の気運醸成や競技力の向上に寄与するための取り組みを検討していく予定である。

また、今後はサッカー専用競技場という枠にとらわれず、幅広く地域に開かれた施設、県民の皆様に愛される施設となるよう、創意工夫を重ね、更なる利用促進を目指したい。



キッズサッカーフェスティバル



なでしこカップ



なでしこスクール



少女スクール